

No.223

2019年
1月号



さくら

図書館だより



(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館

〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

あけましておめでとうございます

より充実した図書館サービスが提供できるよう
務めてまいりますので、本年もよろしくお願いいたします。
(職員一同)

展示のご案内

展示期間 1月24日(木)まで

★メイン展示

『日本のこと知ってる?』

今回のメイン展示は「日本のこと知ってる?」と
題して、

- ・日本伝統の手仕事
- ・子どもたちに伝えたい日本の伝統
- ・日本の文化再発見

という3つのコーナーを設けました。
ぜひお立ち寄りください。



●メイン展示図書より(抜粋)

「ここがスゴイよ!ニッポンの文化大図鑑(1~5)」・「くらべる日本」・「日本の手仕事」
「家族で楽しむ25の年中行事」・「日本の祭り」
「しばわんこの和のこころ」・「鳩居堂の歳時記」
「おばあちゃんの家わたしの家」・「縁起物」

★サブ展示

「年の初めに 短歌と俳句」

万葉集や百人一首をはじめ、現代の作品、作り方・
味わい方などの本を集めました。新年の晴れやかな気
持ちで、皆さんも作ってみ
ませんか。

借りに来てね



●サブ展示図書より(抜粋)

「ピカピカ俳句」・「百人一首人物大事典」
「17音の青春」・「奥の細道迷い道」・「伊勢物語」
「ランドセル俳人の五・七・五」・「芸人と俳人」
「夏井いつきの超カンタン!俳句塾」

忘れ物について

忘れ物・落とし物を多数お預かりしています。
(傘もたくさんあります) 心当たりのある方は
取りに来てください。

多くの忘れ物を長期保管することは困難です
ので、**3月末まで**に取りに来られない場合は、
一部の物(図書利用カード等)を除き、処分さ
せていただきますので、ご了承ください。

読んでみませんか？

-新着図書のご案内-

(一般)

働く女子と罪悪感

浜田敬子 著
集英社

男女雇用機会均等法が施行されてからの30年。何が違って、何が変わっていないのか。なぜ変わらないのか。これから変わっていきけるのか。女性がより働きやすい社会へと変わっていくために、今、働くことに悩んでいる女性に贈る一冊。元朝日新聞社で記者として男性社会の中で働いてきた著者が、自身の体験をもとに“こうあるべき”から離れ、仕事を楽しむことを提案。“記者”の世界を知ることでもできる興味深い一冊です。

(山口)

(一般)

介護士K

久坂部羊 著
角川書店

老人ホーム「アミカル蒲田」で、入居者がベランダから転落死する事故が発生した。ルポライターの朝倉は虐待の疑いを持ち、独自に調査を始めるが、第2第3の死亡事故が続き、事態は意外な方向に展開していく。

正義とはいったい何なのか。決してキレイ事では済まされない介護の現場から、現役医師でもある著者が送り出す究極の医療小説。

(樫田)

(児童)

THE DAM

ディヴィッド・アーモンド 文
評論社

この話は本当にあったことです。1975年に着工し、1981年にダムは完成。ダムに沈んだ家にはたくさんの音楽家が住んでいて、音楽でいっぱいの日々でした。ダムが完成する前に、父と娘は谷に出かけ最後の演奏をし、残された家々を音楽でいっぱいにしました。

ダムの底に沈んでも、音楽は人々の胸に残り続けました。

美しい絵と物語をぜひ見てみてください。

(岡村)

(児童)

知ってる？郵便のおもしろい歴史

郵政博物館 編著
少年写真新聞社

なぜ通信が始まったのか？

時代と国によって、いろいろな通信方法があったこと、近代的な郵便がどのように生まれたかなどを、わかりやすく記されています。

江戸時代の飛脚のスピードは、300キロメートルの距離を最短2日で届けるという内容には驚かされました。

郵便の歴史にふれて、手紙を大切な誰かに出してみるのもいいのではないのでしょうか。

(尾崎)

しめ飾り

クリスマスが終わると、町は一変してお正月ムードになる。巷の店には、しめ飾りやお餅などが売られ、この間、百貨ショップに行ったときには、立派なしめ飾りが三百円とかだけれども置かれていて、こんなところでしめ飾りが気安く買える時代になったのだなあとしみじみ思った。

昨年、宿毛青年会議所で、しめ飾り作りをする事業を行った。7月の豪雨災害に遭った地域に赴き、しめ飾りを一緒に作ったり、しめ飾りを配ることで新年を新しい気持ちで元気に迎えていただきたいという委員長の思いで企画された事業だった。その際に私は初めてしめ飾り作りを経験した。

まず、山積みになった藁から、まっすぐ器量が良く、長さが同じものを選びすぎる。端っこを束ねて麻ひもで硬く結び、二股に藁を分ける。ここからは、2人がかりだ。二股の双方をねじりながら編み上げていく。テンションをかけすぎてしまうと、ねじられた藁が湾曲してしまうので注意が必要だ。また、捻る方向、編む方向にも注意が必要だ。熟練者は、一人でスイスイと編んでいくという。

やっときれいに編み上げたつもりでも、もともと最初に選んだ藁がきれいに揃っていないと時々はみ出してしまっていて、あまり見栄えが良くない。やむなくハサミで四方にはみ出した毛のような部分を切りおとすのだが、やはり一夜で上手く編めるほど、簡単なものではなかった。しかし、今まで購入することでしか手に入れないと思ったしめ飾りが、形の善し悪しはさておき、自分で作れることに興奮を覚えた。

それからというもの、しめ飾りが視界に入るものなら、ついつい目で追ってしまう。

先日は、銀行での待ち時間に、テレビでやっていたしめ飾りの特集に見入ってしまった。そこで紹介されていたのは、可愛らしいドライフラワーで作るモダンな洋風しめ飾りで、シャクヤクやアジサイ、ケイトウなどのドライフラワーを使ったり、蓮の実や小麦やユーカリなどをうまく取り入れたりしていた。洋風の家にも合いそうだ。

また、たまたま出先で通りがかった花屋さんには、赤や白、紫や青などのカラフルな和紙をねじって巻いたものをおしゃれにしめ飾りにしていた。こういう方法もあるのだなあ、これなら、藁のようにみ出しも無いし、私にも簡単に出来そうだ、と思った。

しめ飾りというものは、時代にあった姿でうまく順応して行って、バリエーションが増えて

山下量子

いるようだ。

しかし、わたし的には、やはり伝統的な形で、青みがかった藁を使用して、稲穂が首をもたげているのが好きだ。

お正月には、しめ飾りを。そんな風習は当たり前前に思っていたけれど、しめ飾りやしめ縄の漢字の「注連(しめ)」って、そもそもどういう意味なのかしら？と無知な私はGoogle先生に聞いてみた。

「中国の注連(ちゅうれん)の文字から来ています。人が死んだ後、再び死者の霊魂が家へ入らないように、家の入り口に“清めの水を注いだ縄を連ねて張る”という風習がありました。その縄と日本のしめなわが似ているので、“注連”という言葉が定着したそうです。

万葉集には、標(シメ)の記述があり、ここから標縄が来ているという説もあります。ここでは二通りの意味があります。

- ・場所の領域を示し、立ち入りを禁止するための標。木や岩に縄を張る。

- ・山道などの道しるべとするためのしるし。草の葉や木の枝に縄を張る。

どちらにしても一般の立ち入りを禁じていて、神社や木などに見られる“しめ縄”も、特別で神聖な場所であることを示しています。」

そんな答えがやってきた。

木や岩に縄をしめる。その風習そのものは、天照大神が岩戸から出てきたとき、二度と隠れないよう縄を張ったという日本神話に由来しているというが、今更ながら、お相撲で横綱がしめ縄をつけて本場所の土俵にあがるのも、土俵を清める意味があるのを知った。

そして、このしめ縄に、腰が曲がるまで長生きできますようにとの思いをこめたり、不労長寿や代々繁盛しますようにとの願いをこめて、海老や裏白(シダ)、橙(ダイダイ)など縁起物を飾りとして付けたのが、しめ飾りというわけなのだ。

なんとなく飾っていたしめ飾り。由来を改めて見つめ直すと、なんだかもっと丁寧に、丁寧に扱わなければならない気持ちになってきた。

今年も神様がお家にやってきますように。そして一家が安泰で繁盛、皆が長生きできますように。そんな思いを込めて自宅のしめ飾りを見上げる。

ずいぶん、都合の良い願い事をたくさん並べたが、すべての人の実り多き明るい一年を今年も願う。

～新着図書のご紹介～



- 0 「私が食べた本」 村田沙耶香
 1 「人生は手放した数だけ豊かになる」 マルガレータ・マグヌセン
 2 「村役人のお仕事」 山崎善弘
 3 「働く女子と罪悪感」 浜田敬子
 4 「みな、やっとの思いで坂をのぼる」 永野三智
 5 「定年後の断捨離」 やましたひでこ
 6 「ねこの法律とお金」 渋谷寛
 7 「空をゆく巨人」 川内有緒
 9 「さよならの夜食カフェ」 古内一絵
 9 「日本のヤバい女の子」 はらだ有彩
 9 「不遇職とバカにされましたが、実際はそれほど悪くありません?」 カタナヅキ
 9 「静おばあちゃんと要介護探偵」 中山七里
 9 「フランス座」 ビートたけし
 9 「光まで5分」 桜木紫乃
 9 「昨日がなければ明日もない」 宮部みゆき
 9 「麒麟児」 沖方丁
 9 「コヨーテの翼」 五十嵐貴久
 9 「珠玉」 彩瀬まる
 9 「姫君の賦」 玉岡かおる
 9 「羅針盤は壊れても」 西村賢太
 9 「人生の後片づけ」 曾野綾子
 9 「悲願花」 下村敦史
 9 「介護士K」 久坂部羊
 9 「水曜日の手紙」 森沢明夫

※左側の数字は図書の分類を表しています。
 0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学
 5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

児童図書



- 「恋するせつない歴史人物事典 -あの偉人たちの泣ける素顔がまる見え!-」 大石学
 「しゅわしゅわ村のゆかいなのりもの」 くせさなえ
 「サラとピンキー サンタの国へ行く」 富安陽子
 「1話5分!12歳までに読みたい名作100」 中島克治
 「ぼくの、ミギ」 戸森しるこ
 「知ってる?郵便のおもしろい歴史」 郵政博物館
 「かいけつゾロリ ロボット大さくせん」 原ゆたか
 「クジラのおなかからプラスチック」 保坂直紀
 「ゆかいな床井くん」 戸森しるこ
 「はらぺこペンギンのぼうけん -どうぶつのかぞくペンギン-」 吉野万理子
 「わくわく数の世界の冒険」 桜井進

絵本



- 「あかまるいくつ?」 しみずだいすけ
 「とろとと」 内田麟太郎
 「わたしのおじさんのロバ」 トビー・リドル
 「おおかみのおなかのなかで」 マック・バーネット
 「まめとすみとわら」 せなけいこ
 「パンダのあかちゃんおととと」 まつもとさとみ
 「つちをほらなくなったスチームショベル」 ジョージ・ウォルターズ
 「たぬきのおもち」 せなけいこ
 「せんになみかん -伊豆の昔話-」 福知伸夫

★このほかにもたくさんの図書が入っております。
 図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、そちらもぜひご覧ください。

1月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日 10:00～18:00 ■ は休館日
 ホームページ <http://www.city.sukumo.kochi.jp/sbc/library/index.html>
 メールアドレス tosyo@city.sukumo.lg.jp